

さび病（ドウダンツツジ類）

葉の表裏に直径5 mm前後の橙黄色、類円形の病斑を生じる。葉表の病斑中央部には、淡褐色の微小隆起が群生する。葉裏には、縁が白いカップ状の小さな菌体が多数生じ、これから白粉状の胞子が吹き出す。

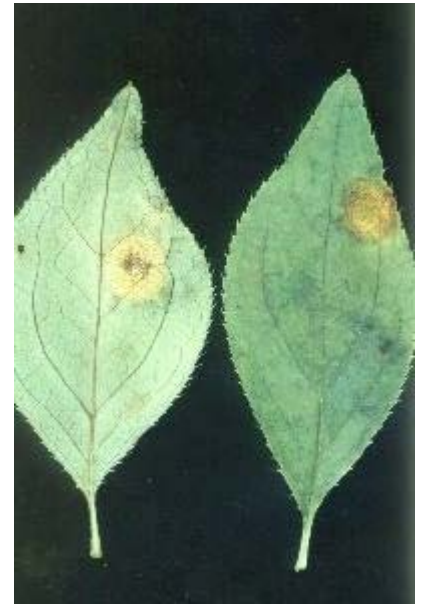
【病原菌】 *Aecidium enkianthi*

【罹病樹種】 サラサドウダン

【発生地域】 渡島

【防除】

中間宿主は不明である。葉裏に菌体が形成される前に、罹病葉を摘み取って焼却するか、土中に埋める。



サラサドウダンさび病